

□和泉市のホームページ

和泉市消防本部ホームページ担当 田中 秀幸

〔開設の経緯〕

1 ホームページ開設の経緯

近年社会経済の発展に伴い、都市構造の変化、高度情報化、高齢化及び国際化が進展し国民生活の態様が大きく変貌しております。

一方、災害をみると火災件数は全国的に減少の傾向にあるものの、救急・救助件数は年々増加の傾向にあり、その態様は複雑多様化してきており、消防・救急・救助活動には高度な知識と技術が要求されてきている現状にある中、このような社会の変化に対応するためには、消防機関が災害情報を迅速、正確に把握することと、消防部隊及び救急・救助隊が迅速、的確に効果的な活動を展開することが重要であることから和泉市においても消防指令装置の老朽化に伴い、平成11年、指令台の更新に踏み切ったものである。

特に、災害活動の成否を左右する最も重要な要素は情報通信であり、阪神淡路大震災での映像による情報収集の重要性を認識しており、その教訓として映像による情報ネットワークの構築が不可欠でありました。

その施策の一環として、市民に消防の持

つあらゆる情報を提供することであり、指令台とケーブルテレビを連動及びホームページを開設し、災害情報・医療情報などあらゆる消防情報を映像及びテロップ等で、いち早く市民に情報提供ができ、市民の災害に対する不安感を解消するため、開設したものである。

なお、開設に当たっては、職員が手作りで開設を目標に、各課、各係から選出された職員をもって、チームを編成、市民に親しまれやすく、見やすいページにと知恵を出し合い、また将来のCATVの活用も考え独自のサーバーを導入し、通信指令室に設置しました。

2 情報提供の内容

(1) ホームページは、職員手作りで市民が知りたい情報を主軸に、次のような構成内容です。

- ① トップ
- ② 昨日までの出場件数
- ③ 消防本部(和泉市消防本部の各種紹介)
- ④ 地域を守る消防団(和泉市消防団の紹介)

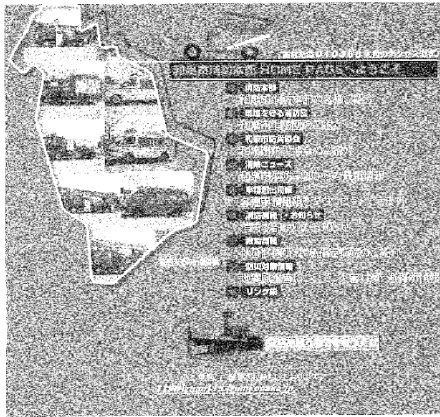


図 1

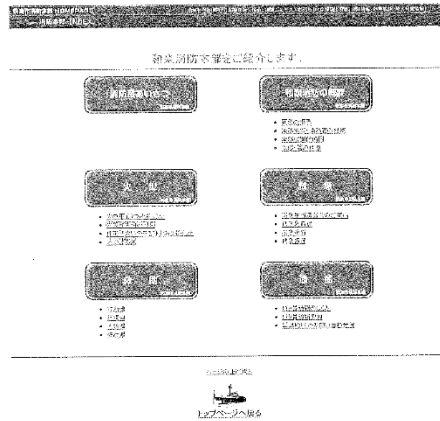


図 3

● 昨日までの出場件数 ●

火災		救急	
出火件数	33件	出場件数	2811件
前年比	-4	前年比	+170
出場件数	155件	搬送人員	2708人
前年比	+15	前年比	+122

平成13年6月7日

[windowを閉じる](#)

図 2

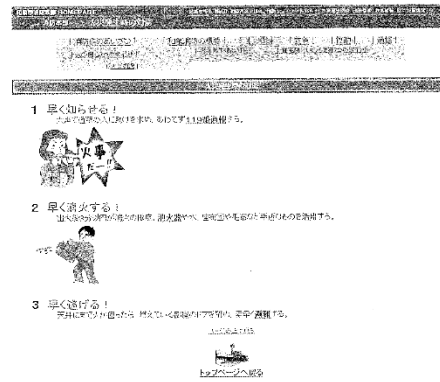


図 4

- ⑤和泉市防災協会の紹介
- ⑥消防ニュース(消防本部からの最新情報)
- ⑦申請届出用紙(各種申請用紙をダウンロード)
- ⑧消防情報・お知らせ(消防本部からのお知らせ)
- ⑨救急情報(休日診療所・救急指定病院の紹介)
- ⑩防災対策(地震風水害について、災害対策、避難所情報)

⑪リンク

以上のページ構成となっています。

(2)各ページの情報等の内容は、次のようになっています

- ①トップページ(図1)

トップページは、シンプルに和泉市消防本部をアピールすべく、作成しました。
- ②昨日までの出場件数のページ(図2)

このページは、火災と救急の出場件数を累計で、前年度と比較して増減を毎日



図 5



図 6



図 7



図 8

集計し, 最新の情報として提供

③消防本部のページ(図 3)

和泉市消防本部の紹介で, 消防長あいさつ, 和泉消防の概要, 火災, 救急, 救助, 通信の 6 ページの構成で, 和泉消防の概要では, 署所の概要, 消防本部・消防署の組織, 消防機関の配置, 仕事の紹介。

◆火災のページ

火の用心 7 つのポイント, 火災発生時対応(図 4)(速く知らせる, 速く消す, 速く逃げる)住宅防火いのちを守る 7 つのポイントと火災の概況を紹介。

◆救急のページ(図 5)

市民の皆さんに応急手当の正しい方法を身につけていただくため, 応急手当の実技講習会の案内, 救急最前線の紹介,

◆救助のページ(図 6)

救助編, 訓練編, 人情編, 統計編と救助の活動等を紹介

◆通信のページ(図 7)

119 番通報のしくみ, 通報要領, 緊急時以外の問い合わせ等についての紹介

④地域を守る消防団のページ

地域を守る和泉市消防団の紹介で, 故郷の担い手消防団は, 郷土愛の精神をもって, 各種災害に, 地域防災の中核として, 火災の警戒及び鎮圧その他災害の防除等の活動しており, 団長のあいさつ,



図 9

消防団の活動、消防団の組織(図 8)、施設を紹介。

⑤和泉市防災協会のページ(図 9)

和泉市防災協会のページでは、災害に備え、「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、市民の地域社会への貢献意識を醸成しながら、地域防災の中核である消防団を中心として、町会、自治会、各種関係機関、事業所等が有機的な連携のもとに、地域ぐるみの防災協力体制を構築し、併せて、市民一人ひとりが実践的な消火、救出応急救護の知識及び技術が習得できる防火防災訓練等の支援を行うことにより、防災行動力を高め、災害に強い安全で暮らしやすい地域社会づくりに貢献することを目的として設立された団体で事業等の紹介と本会の事業を円滑、効果的に推進するために設立された部会の防災無線クラブ、幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性消防クラブ、消防協力会、救急救命士会、防火管理者部会、危険物取扱者部会、だんじり難し「纏会」、自主防災会など、部会及びクラブ等、合わせて 22 団体、防災協会



図 10



図 11

が支援する研究団体の活動等の紹介

⑥消防ニュースのページ

和泉市の消防に関する最新のニュースを紹介

⑦申請届出用紙のページ

和泉市火災予防条例による届出、消防証明(罹災証明、救護証明等)などの消防へ届出等が必要な各種届出書用紙等がダウンロードできるページ

⑧消防情報・お知らせのページ

消防本部(署)からのお願い、消火器の悪質点検業者に対する注意喚起等の情報及び消防本部からの催し物、行事等の開催のお知らせ及び各種情報等の提供

⑨救急情報のページ(図 10)

医療情報案内のページで、自分で病院まで行きたいと思うが、日曜、祝日等休

日における診療案内又は夜間などで診察してもらえる病院の情報及び救急医療機関の案内の情報提供

⑩防災対策のページ(図 11)

このページは、地震、台風、大雨等防災、気象に関する知識と災害に備えての日頃からの備えについての情報等の提供

⑪リンクのページ

和泉市関係および消防関係のホームページへのリンク

以上の内容で、構成し、平成 12 年 4 月 21 日に開設しました。

3 情報の更新

火災・救急発生状況等は、毎日更新を行っております。より新しい情報が提供できるように随時更新を行い。少しでも多くの人に見ていただけるよう、努力しております。

4 今後の取り組み

和泉市の IT 関連についての取り組み IT 革命の波は、地方公共団体及び住民の方々にも否応なくおよんできています。政府は「2003 年度までにインターネットを通じて、行政手続きをペーパーレスで行える基盤を整備する」と発表しています。このことから、和泉市も電子政府から電子自治体へと方向は進むものと考えています。

消防も市の施策にあるように、インターネットをより活用し、利便性と安全性にすぐれた、真の豊かさを実感することができる魅力ある和泉市をめざして、消防についての理解を深め、防火・防災意識の向上にホームページを活用し市民への情報提供を続けて行きたいと考えています。